

コロナ感染から命・くらし守れ

八幡市3月議会 日本共産党と市民の運動一歩ずつ前進

コロナ感染拡大は第4波といえる事態です。政府が本気で検査体制の強化、変異株による感染の実態把握に強めること、医療機関や福祉施設への支援、くらしと営業を守る活動が急がれます。

3月の八幡市議会で日本共産党八幡市議団は、くらしと医療の充実をめざし、がんばりました。

国民健康保険料 3%値下げ

八幡市は、2021年度の国民健康保険料を総額9700万円、3%引き下げます。京都府下で最高額だった時期から比べると、この6年間で4回の値下げ（2回は現状維持）となり、市議会で日本共産党が求めてきたことが一歩一歩実現しています。

国保財政基金から3000万円を投入

市は、国保財政調整基金から3000万円を国保会計に繰り入れ、値下げの財源に充てます。

3月議会の審議で、課税所得200万円、子ども2人を含む4人家族で1万円強の値下げとなり、保険料は年間35万9490円となります。2015年度の最高時42万3820円に比べると、16%の値下げとなりますが、今も負担が重い状態が続きます。

均等割 未就学児5割軽減…裏面アラカルト欄参照

学校整備5ヵ年計画 設計に着手

くすのき、さくら小体育館のエアコン 南山小トイレ

八幡市が昨年末に公表した学校長寿命化計画（案）に2021～25年度の実施計画が明記され、今年度はその初年度に当たります。

21年度予算には、くすのき、さくら小学校の体育館エアコン設置と南山小（校舎）のトイレ洋式化についての設計業務が盛り込まれました。

今年度未着手の事業は？

21年度実施予定の事業の中で、八幡小の給食室のドライ化と男山二中

体育館・武道場の長寿命化計画（いずれも設計業務）については、当初予算には盛り込まれず、今後、補正予算で設計業務が計上されるものとみられます。（男山二中の体育館は22年度、武道館は23年度に工事を実施する予定）

*4つの中学校体育館・武道場のエアコン整備は完了しました。男山中、男山三中、さくら小のグラウンド整備も完了しました。

水道基本料金

再び2ヵ月減免

5・6月検針分で適用

コロナ感染対策として、八幡市は、水道の基本料金を2ヵ月間減免します（5月、6月検針分）。昨年秋の4ヵ月分の減免に続く措置です。

高い水道料金の要因である京都府営水道の負担軽減や下水道基本料金の減免は盛り込まれず、不十分さはありますが、一歩前進です。

応援飲食券も再度実施へ

そのほか、予算には、飲食店を応援するための1人2000円の「応援飲食券」を実施するための予算も計上されました。

山城北保健所

統合で人手足りず

保健師のべ200人派遣

八幡市などを担当する山城北保健所は、統合により保健師などの人手が足りず、八幡市はじめ周辺自治体のべ203人派遣しました。コロナ感染禍で、保健所や医療と介護への支援、くらしを応援する施策が切実です。京都府は、保健所の増員を急ぐべきです。



中央小学校の学童クラブが改築され、4月から利用が始まりました。体調の悪い児童が休む静養スペースもできました。

中央小・学童保育を改築 4月から利用開始

こんにちは 日本共産党です

<八幡市議会報告ニュース> 2021年春号

日本共産党八幡市議会議員団 075(983)2005 (FAXも)

◇市議団ホームページ⇒ [JCP八幡市議団](#)で検索

◇メールアドレス⇒ jcp-ywta@am.wakwak.com

- 山本 邦夫市議 982-8844
- 巖 博市議 982-9663
- 亀田 優子市議 982-1277
- 中村 正公市議 983-8312
- 澤村 純子市議 983-6275

一人で悩まず
お気軽に
ご相談を

法律相談会

5月27日(木) 18時～20時(無料)
文化センター会議室1 弁護士が相談に乗ります

お電話で予約を。1人30分程度
市議団室 075-983-2005

これでいいのか八幡市政 くらし、まちづくり、ムダ遣い

日本共産党

医療と介護 高齢者を狙い撃ち

介護保険料値上げ

八幡市は2021年度の介護保険料基準額(65歳以上)を6%、3800円値上げし、年間6万6800円になります。介護保険に国が25%を負担すべきなのに、3.5%分、年2億円余を減額したからです。減額分は、65歳以上の介護保険料に上乗せされます。

日本共産党は、介護保険への国の交付金減額を見直すよう求めています。国の減額がなければ、保険料を1

億円値下げできます。

高齢者医療の負担増

菅政権は、2022年度後半から、75歳以上の後期高齢者医療の窓口負担を値上げする計画です。3割負担層はそのまま、1割負担層のうち370万人が対象です。夫婦で年収320万円以上の世帯は2割負担になります。

後期高齢者の人間ドックは、国の制度改悪に連動し助成額3万円から1万1000円に減額されました。

まちづくりのビジョンなく

石清水八幡宮駅、商業施設：

石清水八幡宮駅は八幡市の玄関口。しかし、駅前にあったスーパーが2019年9月で閉店し、住民は買物に困っています。ところが、新年度予算には、駅前整備やスーパー誘致などのまちづくりビジョンが示されていません。

旧八幡四小、五小の跡地は、統合から10年以上たつのに利用の方向性が示されず、棚上げ状態。市民の声を聞いて、地域コミュニティ、福祉施設などの活用にも道を開くべきです。

★国保料・均等割

未就学児は5割軽減へ

国の制度改正に伴い、2022年度から国民健康保険料のうち1人3万5000円かかる均等割について、未就学児童は5割が公費により軽減されますが、八幡市での対象人数はどうかと質問。市は、約400人が対象で、約700万円を国・府・市が負担すると答弁。

★アスベスト除去工事

新庁舎建設に伴う現庁舎の減築工事では、アスベスト除去作業が必要になります。安全対策と近隣への説明会などを実施すべきではないかと質問。市は、①アスベスト対策は府において適切に対応されることになる、②工事規模が大きいので、住民説明会を検討したいと答えました。

★男山団地エレベーター

男山団地では2年間で17基のエレベーターが設置されましたが、2020年度は設置されていません。UR都市再生機構に要請すべきだと追及しました。市は、A～D地区にバランスよく配置するよう要請してきたが、URは現在、新たな設置計画はないといっています。市として引き続き要請していくと答えました。

★おうえん給付金に甘さ

コロナ関連対策として実施された八幡市中小企業おうえん給付金事業は、支給要件が厳しく、利用が伸びず、予算額1億円でたいし、46%の実施にとどまりました。市にたいし、その要因をどうとらえているかと質問しました。市は、約半分の申請にとどまり、結果的に見込みが甘かったと答弁しました。

八幡市議会 アラカルト

財政支援の在り方問われる

四季彩館に1900万円

流れ橋交流プラザ・四季彩館の赤字が拡大しています。

赤字を補てんする流れ橋交流プラザに対する市の指定管理料は、2007年度646万円でした。しかし市の負担は年々増え続け、2020年度、21年度は1900万円に拡大しています。際限ない赤字補てんを続けるのではなく、赤字の原因を分析して経営を見直し、財政支援の在り方が問われています。

医療と介護の充実を

新型コロナは、誰もが感染する可能性を持っています。いま、国民みんなが医療の大切さを痛感している時、医療・介護の制度改悪は許せません。命、くらしを守る政治をめざしてがんばります。

森下よしみ

京都府会議員

まともな政治を!

みんなで変える
市民と野党の共闘へ

日本共産党

新しい日本をつくる5つの提案

- ① 格差をただし、家計第一の政治に。
- ② 憲法を守り、立憲主義をとりもどす。
- ③ いいなり外交やめ、自主・自立の平和外交へ。
- ④ 「グリーン・リカバリー」-自然と共生を。
- ⑤ ジェンダー平等を実現、個人尊重の政治に。